

蒲公英

公園にきれいに咲いたたんぽぽ
あちこちを黄色く
鮮やかに彩っている
踏まれても踏まれても
背筋を伸ばし
太陽に向かつて
咲きそろうその姿から
雑草精神を
学ぶことはできる
雑草という草はないと
昭和天皇が言ったと聞いた
まさしく雑草に入らない
その姿は
雄々しく
すがすがしく
健やかに
咲いている
まるでライオンのように
たてがみを立てて
楓爽と立っている

林田 悠来

林田 悠来

十七歳の頃より詩を書き始める・

新聞記者として十七年間にわたって活躍する。

容器包装リサイクル法についての本を三冊出版。すべて完売する。

一九九一年 第一詩集「誇らかに、愛」（私家版）、出版

二〇〇七年 第二詩集「水平線」（文芸社ビジュアルアート）出版

二〇一二年 第三詩集「晴れ渡る空の下に」（コールサック社）出版

現在、日本現代詩人会、日本詩人クラブ、埼玉詩人会、

川崎詩人会所属